



長門だより

学校だより 臨時号
令和2年 5月11日
足立区立長門小学校
校長 會川 大和



先生方のおすすめの本の紹介



長門小学校の先生方におすすめの本を紹介してもらいました。先生方の「子どもの時に好きだった」、「面白いからぜひ読んで欲しい。」などなど、いろいろな本が紹介されています。

ぜひ、たくさんの本を手にとって、読んでみてください。

増田副校長先生

題名「フドウ畑のアオさん」

作者 馬場のぼる

ネコさんが、内緒にしておこうと言っていたフドウ畑の場所を、アオさんがみんなに教えてしまいます。ひといじめしようとするオオカミくん。心優しいアオさんの言葉が素敵です。

森下先生

題名「チューリップ」 作者 荒井 真紀

みなさんは、チューリップの球根の中を見たことがありますか。どうやってつぼみが開いていくか、知っていますか。この本を読むだけで、チューリップのことがよくわかります！
他の荒井さんの作品も、おすすめです。

能口先生

題名「フンダー」シリーズ

作者 くぼしまりあ

ある日現れた黒ネコ、フンダー。名前も変わっていますが、な、なんと…おしゃべりするネコなのです。しゃべっているセリフが少し生意気なところがかわいいです。ねこ好き、動物好きのあなたにおすすめ！



會川校長先生

題名「東大ナナシ」

作者 東京大学謎解き制作集団

わかるかどうかは、あなたのひらめき次第！という挑戦状で、脳トレクイズに挑戦していくシリーズもの。人間の脳はしわの数ほど賢くなるかも。みんなで悩んでしわを増やそう！

海老澤先生

題名「ココロ屋」

作者 梨屋 アリエ

心を入れ替えたいと思うときはありますか？このお話は主人公が不思議なお店「ココロ屋」で自分の心と色々な心を入れ替えてみるお話です。

さあ、どんな心だと友達とうまくいくのでしょうか。ぜひ読んでみてください。



速見先生

題名「あのね、サンタの国ではね…」

作者 嘉納 純子

世界中の子どもたちが楽しみにしているクリスマス。プレゼントをくれるサンタさんがどのように過ごしているか、みなさんは知っていますか？5月のサンタさんがかわいい！！



尾久先生

題名「エルマーのぼうけん」

作者 ルース・スタイルス・ガネット

主人公のエルマーが島でいろいろな動物たちに追われながらも道具を使って、いろいろな子どもを助ける冒険物語です。エルマーはどんな道具や知恵をつかうか…ぼうけんしている気分になれる物語です。



和泉澤先生

題名「ほくらの七日間戦争(ほくらシリーズ)」

作者 宗田 理(そうだ おさむ)

読書がらみの和泉澤少年が、読書好きになったきっかけの一冊です。いたずらの天才「菊地英治」を中心とする、ハラハラ・ドキドキ・ワクワクの展開に夢中になりました。「ほくらの天使ゲーム」など続編もとてもおすすめです。読書が好きな人に特に読んでほしいです！

半田先生

題名「フッタとシッタカフッタ①～③」

作者 小泉 吉宏

主人公はどこにでもいる普通のフタ。名前は「シッタカフッタ」。シッタカフッタがじたばたしながら、日常生活を送る姿を見て、笑って泣ける「心」の本です。

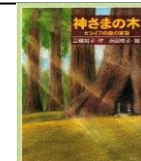


新山先生

題名「神さまの木」

作者 三輪 裕子

自分の生活が、突然考えつかないものに変化することをあなたならどう感じますか？その変化にモヤモヤしたり、ハラハラしたり、でもそんな中にも素敵だなと思えること、楽しいと思えることがあるんだと一気に読みたくなる作品です。出会ったのは小学6年生の時。大人になった今も1番好きな作品です。



金澤先生

題名「ろくべえまってるよ」 作者 灰谷健次郎

穴に落ちた「ろくべえ」という名前の犬を、1年生の子供たちが、いろいろ考えて助け出そうとするお話です。大人にも、相談するのですが、とりあってももらえません。さて、1年生の子供たちはどうやって「ろくべえ」を助けるのでしょうか。

浪波先生

題名「ふしぎ駄菓子屋銭天堂」

作者 廣嶋 玲子

不思議な駄菓子が売っている駄菓子屋。幸運を求める、幸運な人だけが見つけられるお店。心に悩みをもつ主人公たちが手に入れた駄菓子を食べた時に起こる奇妙で不思議な体験が楽しめる本です。



井口先生

題名「かがみの孤城」

作者 辻村 深月(つじむらみづき)

学校での居場所をなくし、家に閉じこもっていたところ。ある日突然、部屋の鏡が光り、その中にあったのは不思議な世界。そこには、こころと似た境遇の7人が集められていた…。ファンタジーとミステリーがまざったストーリーで、最後まで結末が予想できません。長編にトライしたい人におすすめです。



安藤先生

題名「うんちしたのはだれよ！」

作者 ヴェルナー・ホルツヴァルト

「ねえ、きみ、ほくの あたまに うんち おとさなかった？」もぐらくん、さっそく 犯人さがしに のりだした。まず、タイトルにびっくり！ついつい、手にとってしまった。読んでみるといきものの勉強になることもわかりました。ぜひ手にしてみてください。

細海先生

題名「赤毛のアン」

作者 モンゴメリ

空想好きの少女アンが、人々の心をとらえ、カナダの大自然の中で生き生きと暮らす様子が描かれている本です。これを読んでカナダに憧れホームステイしました！



宇野先生

題名「モモ」

作者 ミヒャエル・エンテ

時間の大切さを、主人公のモモが、優しく教えてくれる素敵な物語です。どのように過ごしていくことが自分にとって、そしてまわりにとって大事なのかを考えさせてくれます。





ゼベリング先生

題名「チョコレート・アンダーグラウンド」

作者 アレックス・シアラー

皆さんは、この世の中からチョコレートやお菓子が消えてしまうと考えたことはありますか？この本では、政府がチョコレート禁止法を発令。おかしい法律に戦いをいどむのが子どもたち。読めばきっと、チョコレートが食べたくなる…。(高学年向け)

有賀先生

題名「ざんねないきもの辞典」

作者 今泉 忠明監修

笑えて、ちょっとためになる！生き物たちのざんねないきもの一面、そこがまた愛おしい。イラストも多く、話が1ページずつで読みやすい。親子で楽しめる1冊です。

福田先生

題名「晴れた日は図書館へ行こう」

作者 緑川 聖司

図書館が大好きな女の子が図書館で出会う人々との交流や、図書館で起きる様々な事件が描かれています。晴れた日でも図書館に行きたい！と思ってしまうような素敵な本です。

中島先生

題名「地球」

作者 加古里子

地球の地表や地下の様子が詳しく描かれていて、日本の動植物、昆虫などの生態に加え、地形や自然現象まで学べます。子どもから大人まで楽しめる絵本だと思います。



飯田先生

題名「^{まち}都会のトム&ソーヤ」

作者 はやみね かおる

内人と創也。ふたりの日常から始まる冒険にワクワクします。息子が小5の時、夢中で読書をするきっかけになったシリーズです。親子でハマってしまうかも…ぜひ、どうぞ！



佐藤先生

題名「きみはきみだ」

作者 斉藤 道雄

できることも、できないことも、好きなことも、嫌いなことも、全部まとめて「きみはきみだ」。写真に添えられた文章は、大人にも子どもにも優しく強く語りかけてくれます。

山田先生

題名「カラフル」

作者 森 絵都

ちがうところから見ると、わかることってたくさんありますよね。世界はいろいろな色をしています。ぜひ、みなさんに「カラフル」の意味、考えてみて欲しい本です。



谷本先生

題名「星の王子さま」

作者 サン・テグジュペリ

小さな星にいるちょっと変わった王子さまが、ある理由から他の星を旅してまわるお話です。ちょっぴりフランスの哲学にふれることができる面白い1冊です。



高井先生

題名「ハリー・ポッターシリーズ」

作者 J・K・ローリング

ある日突然ハリーの元に届いたホグワーツ魔法学校への入学通知。初めての友達、ロンとハーマイオニー、その他たくさんの魔法使いたちと繰り広げられる魔法に溢れた壮大な日々。先生が小学校4年生の夏休みに熱中した物語、読み始めると止まりません！

SC 田中先生

題名「きみはダックス先生がきらいか」

作者 灰谷 健次郎

4年生になったリツコの担任になったのは、一番がっかりなダックス先生。ほけっとして、かっこわるい。なのに、うるさいあの子も、勉強が苦手なあの子も、リツコも。クラスは何かが変わり出す。だれもが伸びゆく力を持っていることを教えてくれる名作。

SC 小池先生

題名「大きな森の小さな家」

作者 ローラ・インガルス・ワイルダー

森の中で自給自足の生活を送る、子どもの口元とその家族の物語です。困難な中でも前向きに、楽しむことを忘れず暮らすローラ一家。名作「大草原の小さな家」に続きます。

長門小学校
図書主任

大塚先生のおすすめ

題名

「大村 智ものがたり」～苦しい道こそ
楽しい人生～

作者 馬場 錬成

「2015年ノーベル生理学・医学賞受賞」をした大村智博士の半生の記です。決して難しいお話ではなく、人としての大切なことや心構えが、大村博士の生き立ちと体験とともに語られていきます。

様々な状況で、あらゆる困難に向かいながら、「決してあきらめない」「人のまねをしない」「人の役に立つ仕事をする」と博士の強い意志がつけられていく様子が圧巻です。そして、スプーン一杯の静岡県伊東市のゴルフ場近くの土から2億人もの尊い命を救う微生物を発見したので

す。なお、この微生物をもとに開発された抗寄生虫薬「イベルメクチン」はこの度の新型コロナウイルスに対して抑制効果があるとわかり臨床試験が進んでいます。まさにタイムリーな一冊です。



こんな時期だからこそ、じっくり静かに落ち着いて、読書タイムを楽しんでもらいたいと思っています。読書は一生の宝。素敵な本に出会い、素敵な冒険や経験、大切な知識や考え、驚きや喜び、感動や悲しみなど、たくさんの世界を旅してください。いや～！読書って本当にいいもんですね。

